

防災倉庫整備、防災資機材備蓄について

令和2年度、瑞浪北中学校内に防災倉庫を整備するとともに、新型コロナウイルス感染症対策等として、消毒液、段ボールベッド及びパーテーションなどの新規・増加備蓄を行いました。

1. 防災倉庫整備（瑞浪北中学校）

（1）整備理由

災害時、自治会及び自主防災組織が行う救出・救助活動に必要な資機材並びに避難者用の食料等生活必需品を備蓄している防災倉庫については、人口分布等を勘案し配置していますが、土岐地区の土岐川右岸側に無いことが課題となっていました。

令和元年度の瑞浪北中学校開校に伴い、令和2年度に当該敷地内に防災倉庫を整備し、地域防災力を強化しました。



瑞浪北中学校防災倉庫

（2）事業費総額 10,417千円

2. 防災資機材備蓄

避難所での新型コロナ対策、プライバシーの確保、女性や高齢者の配慮として、アクリル板、消毒液、ポリエチレン手袋、非接触式体温計、段ボールベッド、簡易トイレ、マルチチャージャー及びパーテーションなどを新規または増加備蓄しました。

